

2021年12月13日

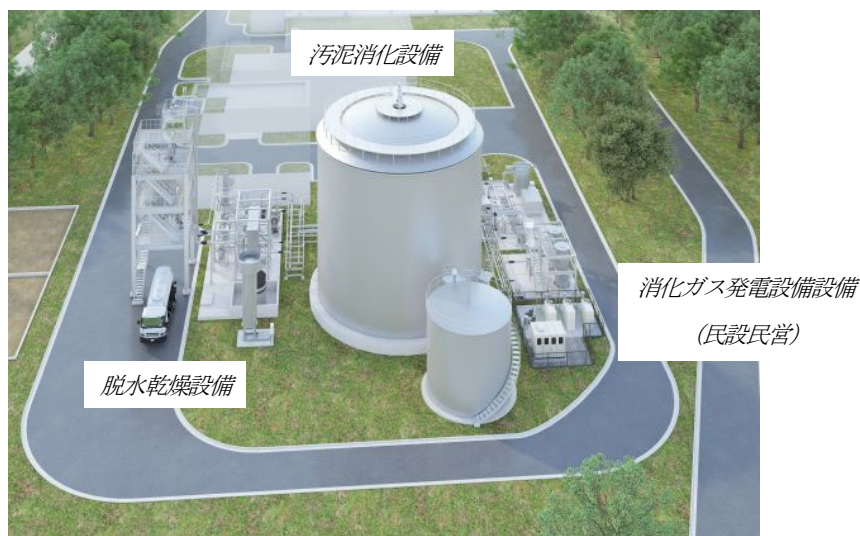
月島機械株式会社

綾瀬終末処理場消化槽設置に伴う汚泥減量化と消化ガス発電事業に関する契約を締結
～DB方式による汚泥減量化施設の導入及び民設民営型消化ガス発電事業～

月島機械株式会社（社長：福沢 義之）は、綾瀬市と「綾瀬終末処理場消化槽設置に伴う汚泥減量化と消化ガス発電事業」（以下、「本事業」）に係る消化施設等設計・建設及び消化ガスの売買に関する契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

綾瀬市終末処理場は、1987年に供用を開始し、綾瀬市東部の下水を処理しております。発生する下水汚泥は、脱水後に堆肥やセメント原料として有効利用していますが、脱水汚泥の処理費用が財政上の課題になっておりました。綾瀬市では、消化施設及び脱水乾燥設備を導入し汚泥の減量化と処分費の削減を行い、消化工程で発生する消化ガスを民設民営型の発電事業に売却することで収入源の確保による事業運営の安定化及び温室効果ガスの削減を目指すこととなりました。指名型プロポーザル方式により、当社が優先交渉権者に選定され、民間の創意工夫を最大限に活用するために「PPP事業における官民対話・事業者選定プロセスに関する運用ガイド（平成28年10月内閣府・総務省・国土交通省）」にある選抜・交渉型対話方式（*1）に沿って官民の対話・協議を約1年間に渡り積み重ね、消化施設等設計・建設及び消化ガスの売買等に関する契約を締結しました。

導入する設備は、汚泥濃縮設備は安定的に汚泥を高濃度に濃縮するろ液浸漬型濃縮装置（ロノッシュ®）、汚泥消化設備は高い耐久性・安全性を持つ鋼板製消化タンク、脱水乾燥設備は国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）において技術評価を得て技術導入ガイドラインが策定されたシステムを採用します。また、汚泥消化設備で発生する消化ガスを燃料として、固定価格買取制度（FIT）を活用した発電事業を行います。



汚泥減量化施設及び消化ガス発電設備

当社は、下水処理場における汚泥処理に強みをもち、汚泥濃縮、消化、脱水、乾燥設備及び発電利用設備の豊富な実績を誇ります。今後も、上下水道におけるPFI・DBO事業をはじめとした「ライフサイクルビジネス」を展開し、地球温暖化防止、脱炭素社会に貢献する下水汚泥有効利用及び消化ガス発電事業の普及拡大に向けて、積極的に取り組んでまいります。

*1 選抜・交渉型対話方式

事業リスト又は個別具体の案件を示して、民間事業者のアイデアと工夫を含む提案を募集し、提案内容を審査して優先順位付けを行い、事業内容について競争的対話による協議を行い、協議が調った者と契約するもの。

《本リリース に関するお問い合わせ先》

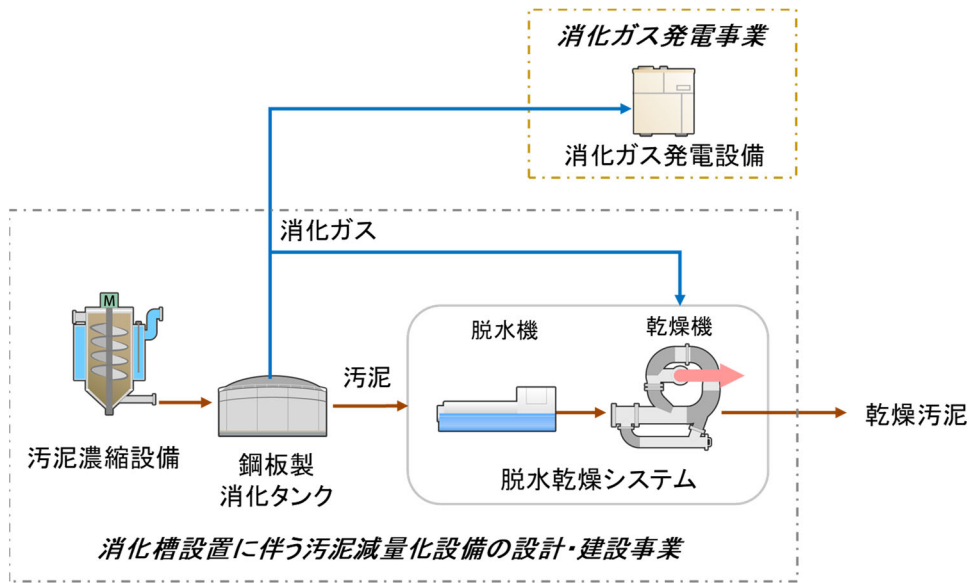
月島機械株式会社 経営統括本部 広報室

TEL 03-5560-6503

綾瀬終末処理場消化槽設置に伴う汚泥減量化と消化ガス発電事業の概要

(1) 主要施設

	消化槽設置に伴う汚泥減量化設備の設計・建設事業 (DB 事業)			消化ガス発電事業 (民設民営)
	汚泥濃縮設備	汚泥消化施設	脱水乾燥設備	発電設備
概要	ろ液浸漬型濃縮装置 (ロノッシュ®)	鋼板製 消化タンク	遠心脱水機 円環式気流乾燥機	ガスエンジン
仕様	1 基	1 基	1 系列	25kW×3 基



処理フロー

(2) 事業期間

消化槽設置に伴う汚泥減量化設備の設計・建設	2021年11月～2024年3月
消化ガス発電事業（民設民営）	2024年4月～2044年3月(20年間)

以上